

平成18年10月22日(日)

第32回 越谷市民まつり

越谷市郷土研究会 展示出品紹介

於 越谷市中央市民会館 4F



東武鉄道 越ヶ谷駅のはなし

原田
民自

東武鉄道伊勢崎線は、明治三十一年（一八九九）八月に開業、今年で一〇七年を迎えた。越谷駅は開業と同時に開設したが、今の北越谷駅が当時の越谷駅で、現在の越谷駅の新設とともに旧越谷駅は武州大沢駅と改名した。

現在の越谷駅は東武鉄道の開業から二

たが、開設にあたって多くの有志の寄付によつて造られた記念碑が現存している。長

新駅舎になつた時点で、駅に隣接して置かれるよう越谷市郷土研究会では

そして現在も、越谷久伊豆神社の片隅にひとりと立っているのである。台座は傷みが進み、四方に彫られた篠志家の名もほとんどが消失してしまって判読ができない。

昭和六年（一九三一）、開業から二十三年を経過した今から七十五年前の東武鉄道が発行した時刻表がある。始発駅は浅草雷門駅で、続いて、墨田公園 → 業平橋 → 請地（うけじ） → 弓舟 → 玉ノ井 → 鐘ヶ淵 → 堀切 → 牛田 → 中千住 → 北千住 → 小菅 → 五反野 → 梅島 → 西新井 → 竹ノ塚 → 谷塚 → 草加 → 新田 → 蒲生と乗り継いで、次が越ヶ谷駅。これらの駅名を見ると、今では失われた駅もいくつか見受けられる。

当時の時刻表を見ると、越谷駅に停車する一時間当たりの列車の最大本数は三本だった。現在の越ヶ谷駅に停車する一時間あたりの最大本数は、

越ヶ谷駅前には現在と同様に路線バスが二系統運行されていた。越ヶ谷行きは一日二十二本。越ヶ谷発吉川行きが二十一本であった。

昭和 6 年

寺橋の由来

加藤 幸一

天嶽寺と久伊豆神社の前を流れる元荒川に、寺橋（現・宮前橋）があります。「の橋は、昭和三十四年以前は木橋で、記録によると、文明十年（一四七八）に開基とされる天嶽寺が、河川改修で閉ざされていた町との通行をスムーズにするため、住職の発願により架けられた、とあります。江戸時代初期のことです。付近の方々には、子供のころから寺橋を渡つて学校へ通い、買い物に墓参りにと生活に欠かせない橋です。

越谷音頭に「綾瀬、古利根、元荒川に渡る寺橋、平和橋」とあるように、多くの越谷市民に親しまれている橋でもあります。寺橋が今では宮前橋と名称が変わりましたが、寺橋の由來を後世に残す一環として記念碑を建立されました。

「寺橋」由来の碑

元荒川の呼称は寛永六年（一六二九年）徳川幕府の治水対策で荒川本流の入間川筋（和田吉野川）への瀬替以後のことであり、かつては古荒川とも呼ばれた。

この瀬替による流量不足を補うため中島用水（現葛西用水）が開発されたと思われ、それとともになって、天嶽寺前を開削し流路とする河川改修がおこなわれた。この改修は越ヶ谷御殿地から花田村（現花田地区）を迂回して小林村（現東越谷地区）に至る彎曲した流れを直道に疎通させ、瓦曾根溜井までの通水の便を図つたものである。

文明十年（一四七八年）開基とされる越ヶ谷天嶽寺前のこの河川改修に伴い、遮断された旧越ヶ谷町内との通行利便のため、天嶽寺第四世城善上人（正親町『おおきあち』天皇第三皇子）の発願により橋が架けられた。以後この橋を地元の人達は、親しみを込めて「寺橋」と呼び現在に至っている。

この「寺橋」付近は流れもおだやかで昭和初頭の頃から、地元青年団による子供達の水練場（水泳場）が開設され、大いに賑わい、越ヶ谷の夏の風物詩ともなっていたが、昭和三十四年にコンクリート製の橋に架け替わった頃より、地域開発に伴う環境の変化と併せて水質の悪化が著しく、時代の流れとともにその姿は消えた。

平成十五年十一月宮前橋（旧称寺橋）の新設竣工を機に元荒川の環境保全と「寺橋」の名の歴史的意義を顕彰し、この碑を建立する。

平成十八年九月吉日

越谷市郷土研究会に入ってみませんか！

NPO法人・越谷市郷土研究会とは

(平成18年10月現在)

- ◎史跡めぐりなどのイベントを毎月実施し、また、毎年、越谷市民まつり・越谷市民文化祭・こしがや文化芸術祭に展示部門で参加しております。
- ◎当会は、昭和40年(1965)3月に発足し、平成16年にNPO法人になりました。現在は会員数が300名を越える大所帯です。

ほぼ毎月行われる史跡めぐりは35回を数えるまでになりました。

- ◎当会の最近の主なイベントをあげますと次のとおりです。

平成17年8月27日(土) 郷土研究会創立40周年・NPO化1周年
記念歴史講演会「江戸時代の越谷に学ぶ」
(講演者は江戸東京博物館館長・竹内誠氏、後援は越谷市教育委員会・文化連盟)
平成17年 9月 6日(火) 上野公園散策(国立博物館・東照宮・岩戻邸)
平成17年10月23日(日) つくばエクスプレスで宇宙に行こう
平成17年1月1日(金) バス史跡巡り(紅葉狩り:越谷・高戸・船橋・足尾山)
平成17年1月14日(月) 大間野・旧中村家住宅館1周年記念イベント
(みちくさ散歩・昔遊び選手権大会、「大間野周辺の昔」お話会・主婦会・講師会開催)
平成17年12月 2日(金) 大間野町・旧中村家住宅見学会
平成18年 1月 3日(火) 恒例の七福神(亀戸)と亀戸天神初詣で
平成18年 1月29日(日) 研究発表会「越谷名物・太郎兵衛もち」
平成18年 2月11日(土) 日本橋周辺散策と三井記念美術館
平成18年2月14日~26日 越谷市立図書館での「明治・大正の越谷」展
平成18年 3月 5日(日) 蝶梅と梅の宝登山・長瀬火祭り
平成18年 3月18日(土) 春のお彼岸・越谷六阿弥陀めぐり
平成18年 3月25日(土) 講演会「御殿・鷹狩と徳川家康」(越谷教育頤館との共催)
平成18年 4月18日(火) 埼玉鴨場見学
平成18年 4月26日(水) バス史跡巡り・千葉の御殿跡と加曽利貝塚など
平成18年 5月 9日(火) バス史跡巡り・金山城・高山彦九郎と呑龍様
平成18年 6月14日(水) 本土寺と小金宿界隈
平成18年 7月22日(土) 中川船番所資料館・荒川ロックゲート
平成18年 8月26日(土) 見田方遺跡発掘40周年記念講演会(主催は越谷教育頤館)
平成18年 9月30日(土) 鹿沼1絆の影刻屋台と川上満生美術館
平成18年10月 9日(月) 大間野・旧中村家のイベント(当会と越谷教育頤館の共催)
昔惚かし「とうかんやのわらでっぽう」

平成18年10月28日(日) 今も残る田園風景「野島・三野宮」を訪ねる

- ◎郷土研究会ニュース「りせ」の発行

- ◎会報『古志賀谷』の隔年の発行(B5版・百十~百五十頁程度)及び無料配布

内容は主に会員による郷土の調査・研究の報告や随想の寄稿文などです。

※なお、以上その他、越谷市社会福祉協議会への寄付・文化財パトロールの活動や、子供を対象に「埼玉古墳たんけん隊」「越谷歴史たんけん隊」なども行っております。また、学校や自治会、各団体などへの出前授業も承っております。

郷土研究会にお入りになるには

- ◎会費は、年間2千円(4月~翌年3月、会報・諸案内状・諸会議費等)です。

どなたでも気軽に入会できます。市外の方でも歓迎致します。

- ◎申し込みは、はがきに「平成何年度より入会」とお書きのうえ、住所・氏名・電話番号をご記入し、下記までお寄せ下さい。

または、当会の各種行事の際に、郷土研究会役員までお申し込み下さい。

〒343-0041 越谷市 千間台西 2-17-16 宮川 進方
NPO法人・越谷市郷土研究会
☎ 048-975-9139

◎「夢空感」にスペース借用し、事務所を新設、情報発信の拠点に！

このたび、念願の事務所をかねた情報発信拠点を、チャレンジショップ「夢空感」内のスペースに置かせていただくことになりました。

旧日光街道の北越谷(大沢)へ向かって右側、河内屋旅館さんの北側です。「いつか自分のお店を持ちたい」という方々のチャレンジのための空間です。そこにチョット異業種の、当会が入らせていただきました。

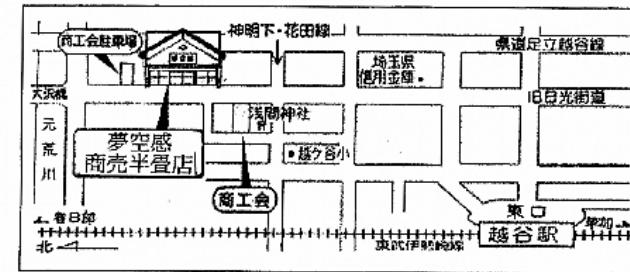
越谷特産のダルマ、桐箱、煎餅、太郎兵衛橋(もち)製のアラレのご紹介などを含めた、あらゆる意味での「越谷情報」を今後、発信していきたいと考えています。その他に、皆様が旧日光街道沿いの商店街へお出かけの際に「憩いの場、お休み場」としても、お使いいただきたいと思っています。是非、お気軽に立ち寄りください。

「夢空感」は、月曜日は定休です。営業時間は午前10時から午後6時(ただし当会は5時)までです。住所と当会の電話番号は下記のとおりです。

住所 343-0818 越ヶ谷本町8-3 電話及びFAX 048-962-2651

また、金曜日の朝は、市内の農業者の方の直売市(いち)が開かれています。新鮮な季節の野菜などが安く手にはいることで評判です。金曜朝を目指して、夢空感にお越しください、郷土研究会で一休みするのも名案です。

(以上、H17・12・17のNo. 54「りせ」より、一部手直しして紹介)



○越谷市保存民家・大間野町・旧中村家でのイベント展開について

市民の方々に「文化財・旧中村家」に親しんでいただこうと、今年度、次のようなイベントを行なう計画をもってあります。楽しい催しにしたいと思っておりますので、ぜひ、ご参加くださいますよう、お願い申上げます。

○5月24日(水)「江戸あねさま人形」教室 講師・宮内和代氏

○6月6日(火)老人福祉施設「ゆりのき荘」歴史散歩

案内・藤川吉洋幹事

○7月29日(土)「トールペインティング」教室 講師・黒澤利恵子氏

○10月9日(祝)「とうかんやのわら鉄砲」 講師・金岡由紀子氏

○11月14日(火)=県民の日

開館2周年記念イベント「昔あそびとこども達のための見田方遺跡発掘40周年記念のお話会」お話・高崎力常任理事

H18.6.25 N0.64 「りせ」より